



生涯に乳がんを患う日本人女性は9人に1人(国立がん研究センターがん情報サービス出典)の割合です。一方で、乳がんは早期に発見し治療すれば治癒率の高いがんです。乳がん検診を受けられる施設では、専門医や技師が検診し、看護師やスタッフの手厚いサポートもあります。コロナ禍であっても、定期的に最寄りの施設で乳がん検診を受けましょう。

定期的に乳がん検診受診を



Toda Medicalcare Group
戸田中央メディカルケアグループ

グループ挙げて検診啓発



2019年に行われた「ピンクリボンミニウォークin埼玉」の様子



ウォークの途中で設けられた疑似乳房体験ブース



今年の9月4日には、なでしこリーグ1部「ニッパ横濱FCシーガルズ」の公式戦でピンクリボンマッチを開催

1都4県下に29の病院と6つの介護老人保健施設など、合計130事業所を展開する戸田中央メディカルケアグループ(TMG・中村毅会長)では、埼玉県を中心に「ピンクリボン」の推進に尽力している。平成19年から10年間、開催された「ピンクリボンウォークin戸田市」にも毎回、全面協力するなか、同市の乳がん検診受診率は開始当初の5%から10年間で59.9%まで上昇。県内トップクラスの検診率を誇るまでに至った。

平成29年から埼玉県全域に向けての活動として、さいたま新都心で「ピンクリボンウォーク」を開催しているが、2021年は新型コロナウイルスの影響で中止となった。昨年は全国初となるオンラインによる「ピンクリボンオンラインウォークin埼玉」を開催。今年も継続して開催し、申込締切前に定員となった。県全体の乳がん検診率向上に向け活動を拡大させている。



本社工場での「ピンクリボン」イベントの様子

さらに、さいたまスーパーアリーナ、大宮ソニックシティビル、埼玉会館をピンク色に染める「ピンクリボンナイトアップ」に協力するほか、同グループの医療法人横浜未来ヘルスケアシステムがオフィシャルクラブシップパートナーを務める「ニッパ横濱FCシーガルズ」の公式戦で「ピンクリボンマッチ」を9月4日に開催するなど、TMGはグループを挙げて乳がんの早期発見・治療の重要性を呼びかけてい

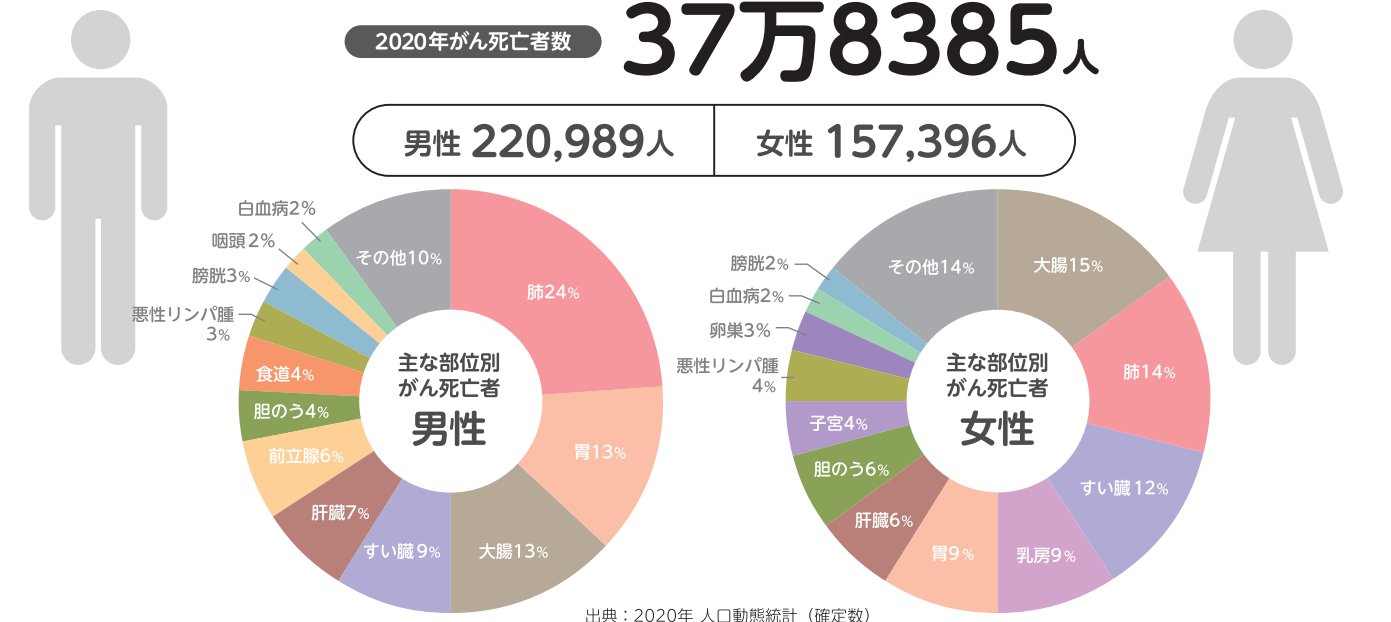
日本対がん協会からのお知らせ

日本のがんの現状と新たな課題への対応

新たにがんと診断される人は毎年100万人前後にのぼります。コロナ禍において、新しいかたちの取り組みも始めています。

日本のがんの現状

1981年以来、がんは死因の1位です。生涯で2人に1人が罹患し、毎年全死者の約3分の1を占めます。主な要因は高齢化ですが、禁煙は罹患リスクを抑え、科学的根拠に基づくがん検診は死亡率を下げることができます。



TMGの乳がん検診実施施設 (埼玉県内)

早期発見・早期治療で、あなたの乳房と命を守ります。最新式のマンモグラフィーやエコーを備える、お近くのTMG各施設へ

TMG あさか医療センター
期市満沼1340-1 ☎048-466-2055

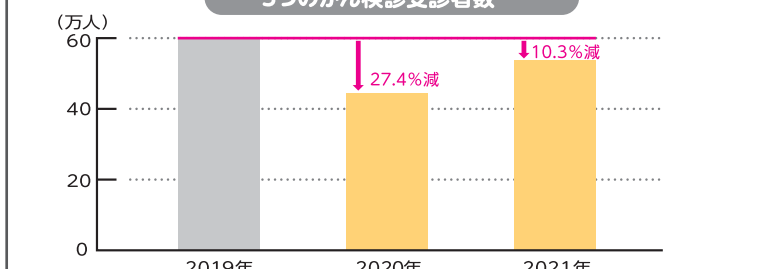
新座志木中央総合病院
新座市東北1-7-2 ☎048-474-7211

TMG 宗岡中央病院
志木市上宗岡5-14-50 ☎048-472-9211

戸田中央総合病院
戸田市本町1-19-3 ☎048-442-1111

戸田中央総合健康センター
戸田市上戸田2-32-20 ☎048-442-1118

がん検診の受診状況調査



当協会グループ支部は、自治体のがん検診(住民検診)を担っています。コロナ禍の中での5つのがん検診(胃、肺、大腸、乳、子宮頸)の受診状況を調べたところ、2020年は新型コロナウイルス流行前の2019年と比べて27.4%減と落ち込み、2021年も10.3%減とコロナ前の水準まで戻っていないことがわかりました。

新たな課題に対応した対がん活動

がんは早く見つけることができれば治る可能性が高い病気です。がん検診では多くの早期がんが見つかっています。しかし、コロナ禍による受診控えで早期発見への影響が心配されています。がんが進むと治療の選択肢が減り、身体的・精神的な負担が増えるばかりでなく、治療費など経済的な負担も増えます。がん検診受診者数の回復など新たな課題にも対応しています。

たけうちクリニック

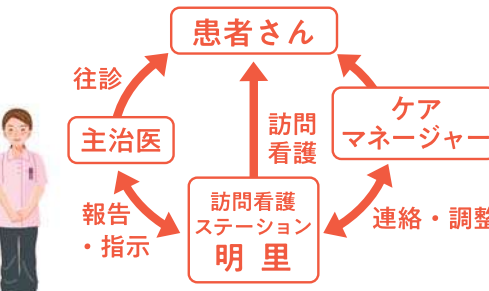
地域の頼れるクリニックは一生のお付き合い

検査結果はその日のうちに
地域の頼れる身近なかかりつけ医のポジションの中にあり、35歳以上の乳がん検診を推奨している。予約制の院内検診は、予約制の多い中、多少はお待ちさせていただきます。その日のうちに必ず診てなるべく早く結果をお伝えすることを心がけています。

大規模病院と密な医療連携
埼玉県立がんセンター、熊谷総合病院、埼玉医科大学総合医療センター、さいたま赤十字病院、北里大学メディカルセンターなど先方の医師も

安心して受診して頂くために経験豊富なスタッフが対応
当院では経験豊富なスタッフが患者さん一人一人に寄り添いながら安心して検査や受診していただけるようサポートしています。

必要となった患者さんには家に寄り添ったケアを行っています。
必要となった患者さんには家に寄り添ったケアを行っています。コロナ禍ではお家で過ごすことが多いです。かと言って深刻な病状を自宅まで過すのはご家族の負担も重くなります。



院長 竹内 幾也
たけうち いくや 埼玉医科大学総合医療センター 勤務を経てたけうちクリニック開業。外科専門医 医学博士、乳癌認定医A評定、がん治療認定医、日本医師会認定産業医、埼玉医科大学総合医療センター、(消化管・一般外科・乳腺内分泌外科)非常勤講師。



末益 公人
すえます きみと 前埼玉県立がんセンター副院長
・日本乳癌学会乳癌専門医
・日本外科学会指導医
・日本外科学会外科専門医
・マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 読影認定医
火曜日と金曜日に診療 2022.10.15

医療法人 こくさいクリニック

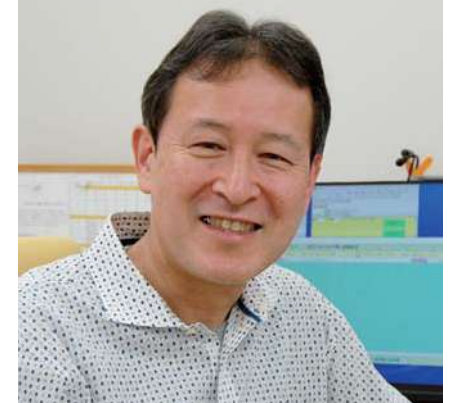
豊富な経験値でスタッフが寄り添い

安心して受診して頂くために経験豊富なスタッフが対応
当院では経験豊富なスタッフが患者さん一人一人に寄り添いながら安心して検査や受診していただけるようサポートしています。

医師の説明のフォローアップや不安な患者さんの心への寄り添い、よりこれからの治療計画がスムーズに進むように配慮をしています。

不安を軽減「ひとりじゃないよ」心寄り添う看護師さん
結果が判るまでの待ち時間(数日)が患者さんには不安になります。ですから「検査当日のうちに結果が判る」ことを前提として、これにより患者さんのストレスの軽減を図っています。

やさしい診療、分かりやすい説明をおこなっているスタッフ
の診察や定期検診に来院する患者さんの気持ちも少しはほぐりかけてくれると心配りしています。「ホスピタリティ」を大事にしたいのです。どなたでも安心して受診していただくために、笑顔と向き合っています。



院長 山下 純男
やました すみお 千葉大学医学部卒、深谷赤十字病院外科部長を経て、こくさいクリニック院長。日本外科学会専門医、日本乳癌学会認定医、さいたま乳がんケアサポートグループ理事、検診マンモグラフィ読影認定医(*A判定)。埼玉乳がん検診検討会。

丁寧な検査と説明
検査結果が判るまでの待ち時間(数日)が患者さんには不安になります。ですから「検査当日のうちに結果が判る」ことを前提として、これにより患者さんのストレスの軽減を図っています。

やさしい診療、分かりやすい説明をおこなっているスタッフ
の診察や定期検診に来院する患者さんの気持ちも少しはほぐりかけてくれると心配りしています。「ホスピタリティ」を大事にしたいのです。どなたでも安心して受診していただくために、笑顔と向き合っています。